

中小企業診断士養成課程トピックス

29 期

真剣勝負の場（平成 30 年 5 月 24 日更新）

開講から 2 か月弱、23 種もの演習を経て、29 期生はようやく初めての実習の舞台に立っています。

これまでの校内での演習は 4 日間が最長でした。しかし、実習は事前の準備まで含めるとそのおよそ 3 倍以上の日数を要することになります。一つ一つのスキルを試す練習試合ではなく、これまでの期間で学んだ総合力が試される真剣勝負の場なのです。

もちろん、1 回の実習ですべてが習得できるわけではありません。5 回の実習で真剣勝負を繰り返していくことで、ようやく身についていくものなのです。29 期生はそのことを十分理解し、演習以上の高い集中力とチームワークを発揮して、膨大な量の情報と格闘を続けていました。

